



物を大切にし、人を愛し、ふるさとに誇りをもつ「白旗の子」

平成23年度「学校版環境 ISO」コンクールにおける取組
甲佐町立白旗小学校

さらにはエコプロジェクト(学校版環境ISO)

1 宣言

(1) 行動目標

<児童>

- ① 必要のない電気を消します
- ② 水道の水を節約します
- ③ 給食の残菜0を目指します
- ④ 教室のゴミを分別し、ゴミの量を減らします
- ⑤ 一人一鉢運動に取り組みます

<職員>

- ① 必要のない電気は消し、冷暖房器の使用を節約します
- ② 水道の水を節約します
- ③ 職員室から出るゴミを分別し、ゴミの量を減らします
- ④ 裏紙印刷や両面印刷を行い、紙の消費を抑えます

(2) 成果目標

- ① ゴミの量は毎週2.5kgより少なくする
- ② 電気代を毎月9万円より少なくする
- ③ 水道代を毎月3万円より少なくする

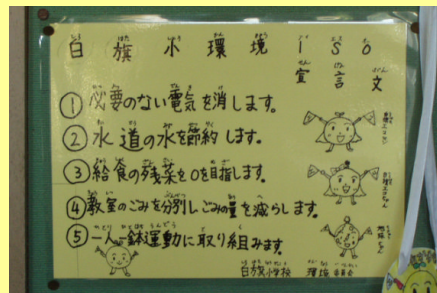


児童集会での宣言文採択の様子

環境委員会から行動目標を提案し、全校児童で今年度の学校 ISO 宣言文として採択した。併せて、環境委員会では、昨年度のゴミの量や電気代、水道代を調べ、今年度の取組の成果を測る数値目標を設定した。

宣言文は教室や廊下に掲示し、常に児童が意識して行動できるようにした。

職員も、年度当初の職員会議で環境 ISO の取組を確認して、環境委員会が設定した数値目標を達成するよう取組を心がけた。

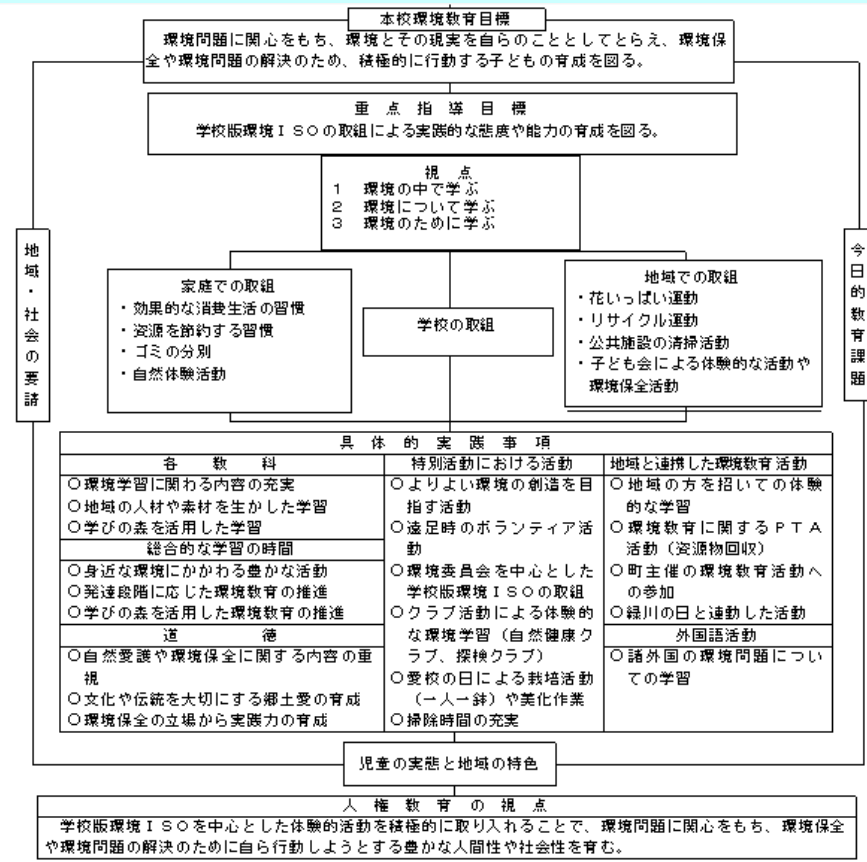


宣言文の掲示の様子

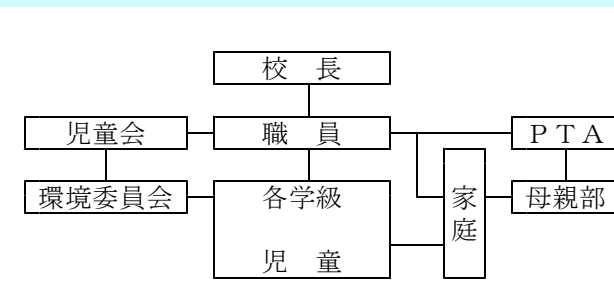
2 行動

(1) 計画と組織

【環境教育全体計画】



【学校版環境 ISO 校内組織図】

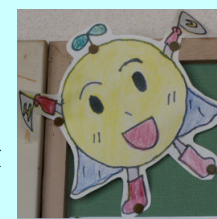


本年度の環境教育における重点指導目標に「学校版環境 ISO の取組による実践的な態度や能力の育成」

を掲げ、児童会活動（環境委員会）や総合的な学習の時間、道徳、教科等と有機的な関連を図った取組を行うことにした。併せて、PTA（母親部）や家庭との連携による取組を試みた。

(2) 啓発キャラクターの設定

低学年児童も親しみをもって取り組めるよう、「白旗エコマン」「白旗エコちゃん」「地球ちゃん」のキャラクターを児童が作成した。



白旗エコマン

(3) 具体的な活動

① 節電の取組

教室を空ける時や掃除の時間などは、教室の電灯を消すよう呼びかけた。トイレの電灯もこまめに消すよう呼びかけた。

校舎内全てのスイッチの近くに「節電シール」と児童が作成した「節電の呼びかけカード」を貼り、意識の高揚を図った。



節電シールとカード

② 節水の取組



節水標語

校内全ての水道蛇口の近くに「水を大切にしよう」の標語を貼り、節水に心がけるよう呼びかけを行った。

歯磨きはコップ一杯の水で済ませるよう心がけたり、掃除のときはバケツの水で雑巾を濯ぐようにした。



歯ブラシとコップ

環境委員会が「ぴかぴか大作戦」として掃除の充実



バケツを使った掃除

を呼びかけた月間では、バケツの使用状況についてもチェック等を行い、定着してきた。

低学年が締め切ることができない水道蛇口を上級生が締めてあげる姿も多くなった。

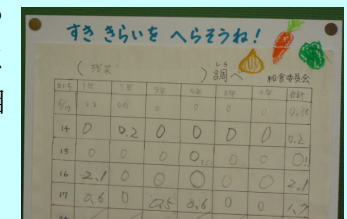
③ 給食の残食0の取組



縦割り班の芋植え

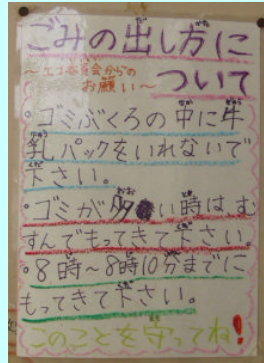
環境委員会による栽培活動や給食委員会による「残食0」の呼びかけと点検活動を行った。担任による食育との相乗効果によ

って、各学級の残食は極めて少なくなった。

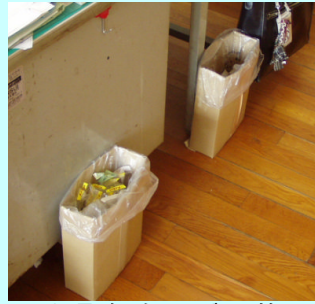


残食の点検

④ ゴミの分別と減量の取組



ゴミの出し方の掲示



職員各自のゴミ箱

ゴミについて、資源として活用できるものと、そうでないものを分別して、ゴミの量を減らす取組を行った。

職員は、職員室に各自のゴミ箱を備えて、ゴミの出ない生活に心がけ、ゴミの減量化を図った。

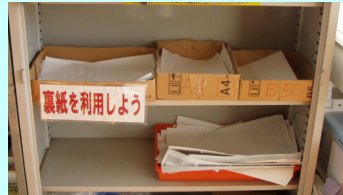
⑤ 紙の消費抑制の取組(職員)

裏紙印刷用のボックスや再利用可能封筒ボックスを設け、紙の再利用を推進した。

このことが、ゴミの減量にもつながった。



資源ゴミ分別ボックス



再利用封筒用ボックス



裏紙印刷用ボックス

⑥ 栽培活動の取組



花壇を活用した花一杯運動

一人一鉢運動はもとより、花壇やプランターを活用した花一杯運動に取り組んだ。

また、シイタケやカブ、蕎麦、大豆等の栽培などを通して、それぞれの植物に適した環境の大切さについて学んだ。

自然の循環についても体験を通して学ぶように、校内の樹木の枯れ葉を集めて堆肥をつくった。



シイタケの収穫

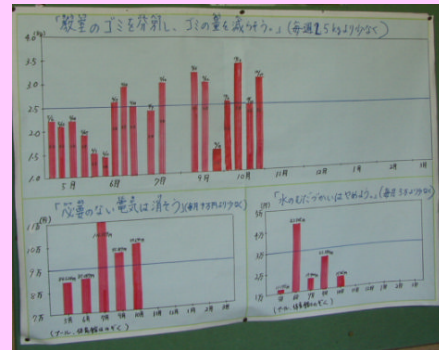


堆肥を作る「落ち葉貯金袋」

3 点検・記録

(1) 毎週のゴミの計量

環境委員会が、毎週、教室から一週間分のゴミの計量を行った。結果を放送で各学級に知らせ、ゴミ減量への意識の向上を図った。



環境委員会によるグラフの掲示



環境委員会によるゴミの計量

(2) 毎月の電気代、水道代、ゴミの量のグラフ化

環境委員会が、毎月の電気代、水道代、ゴミの量をグラフ化して廊下に掲示し、目標を達成できたかを視覚で捉えやすくした。

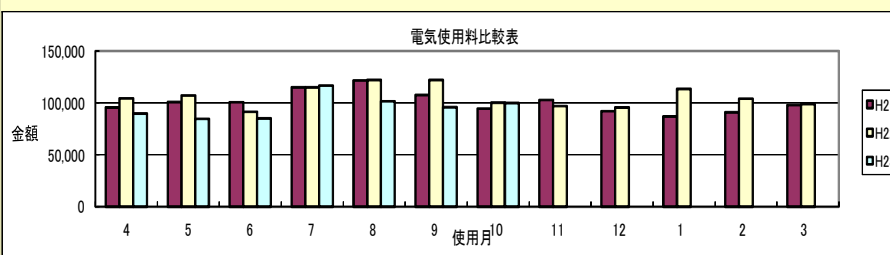
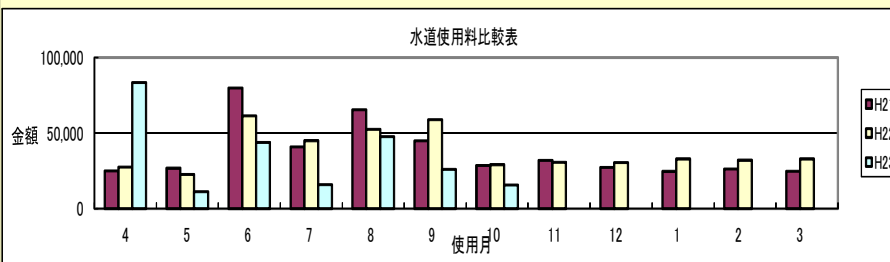
4 見直し(成果と課題)



調査結果の分析の様子

毎月の点検・記録をもとに、環境委員会で取組の成果や課題について考え、取組の充実や見直しについて検討している。

1学期の結果をもとに、2学期には節水や節電、ゴミの減量について、キャラクターによる呼びかけを行ったりした。



4月は漏水のため水の使用量が多くなったが、他は過去2年間と比べて、節水、節電は着実に成果をあげている。

5 学校版環境ISOと連動した3つの取組

- ① 必要のない電気は消します
- ② 水道の水を節約します。
- ③ 給食の残菜を目標します
- ④ 教室のゴミを分別し、ゴミの量を減らします
- ⑤ 一人一鉢運動に取り組めます



家庭でも、環境にやさしい生活に取り組んでみましょう。

わが家の環境ISO宣言

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

CO₂(二酸化炭素)の排出量を換算すると、こうなります。
 1kWhの電気使用 = 0.43kg (CO₂)
 1m³のプロパンガス使用 = 5 kg (CO₂)
 1m³の水道使用 = 0.23kg (CO₂)
 1Lの灯油使用 = 2.5 kg (CO₂)
 1Lのガソリン使用 = 2.3 kg (CO₂)
 1kgの紙使用 = 1 kg (CO₂)
 ※環境省「わが家の環境力」(環境省「エコポイント」から引用)

「わが家の環境ISO宣言」シート



リサイクル活動



親子風車作り



学びの森での昆虫採集

いできた方々への聞き取りなど、本校の恵まれた環境を生かした環境学習に計画的に取り組んだ。

(1) 家庭への広がり

環境保全に寄与する態度を育むためには、児童一人一人が自分でできることを心がけて実践する機会を家庭でも設けることが大切である。そこで、保護者の協力のもとに「わが家の環境ISO宣言」の取組を行っている。

(2) PTA・地域との連携

PTAと連携したリサイクル活動を行い、3R活動について理解を図る場とした。

また、本年度は母親部の提案で、使用済みのペットボトルを利用して親子で風車作りに取り組んだ。完成した風車は、お世話になっている地域の特別養護老人ホームやJ A等に児童が贈った。使い終わったものを「他のことに使えないかな」つぶやく児童の姿も増えた。EM菌を活用した水の保全についても地域の方の協力を得て取り組んだ。

(3) 白旗小の特色を生かした環境学習

学校敷地内にある学校林「学びの森」を活用した観察や体験活動、学校のすぐ傍を流れる緑川での水中生物の観察や調べ学習、地域の自然や文化を守り受け継

「もったいない」の心を育みます

